

LPガス機器で快適な省エネ住宅

新築は省エネ住宅が標準に

2025年4月から、すべての新築住宅等に対して省エネ基準の適合が義務化されることをご存じでしょうか？ これからの新築住宅選びは、立地や間取りだけでなく、住宅の省エネ性能も重要なチェックポイントとなります。

2030年には、新築住宅の省エネ性能はZEH(ゼッチ/ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)基準が標準となります。ZEHとは自宅で発電してエネルギーを創り、家電や照明、給湯などで使うエネルギー消費量を実質ゼロにする住宅のことです。

これからは、高断熱・高气密な構造と、省エネ性能の高いエアコンや給湯器、LED照明などによって、エネルギー消費を抑える省エネ住宅のニーズがより高まっていきます。

家庭で使うエネルギーのうち、家電、照明、給湯、冷暖房が大きな割合を占めています。これらのエネルギー消費を抑えつつ、快適な住環境を維持することが大切です。

LPガスで「創エネ」「省エネ」

住宅の省エネ化には、エネファームやハイブリッド給湯機、エコジョーズなど、環境性能に優れた高効率なLPガス機器の利用も有効です。

家庭用燃料電池エネファームは、LPガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学的反応させて発電し、その際に発生する熱を利用して給湯も行うシステムです。太陽光発電と組み合わせたダブル発電や蓄電池との併用で、さらに省エネ効果を高めることができます。

また、エネファームは、災害に強いLPガスを使って自宅で発電できるため、災害時に停電した場合にも電気を使うことができ安心です。

ハイブリッド給湯機は、ガスと電気を組み合わせて、それぞれのエネルギーのメリットを活かして効率よくお湯を沸かします。

エコジョーズは、従来は捨てられていた排気熱を有効利用することで熱効率を高め、より少ないガスでお湯を沸かすことができます。



国の補助を活用して快適生活

住宅の省エネ化を促進するため、国は補助事業として「住宅省エネ2025キャンペーン」を実施しています。この制度は、省エネ住宅の新築やリフォームの際に、高効率給湯器の設置などを支援するものです。

近い将来、省エネ住宅が当たり前の時代になります。国の制度も賢く活用し、省エネ住宅で地球に優しい快適な暮らしを実現しましょう。

LPガス
人と地球にスマイルを

日本LPガス団体協議会

